



笑顔いっぱい いのちかがやけ 花園の子



小樽市立花園小学校
学校だより No. 4
令和8年6月26日 ↓ 本校

☎ 25-5233
Fax 25-5234

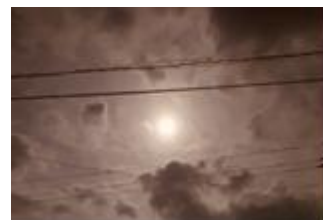


不足の美

校長 五十嵐 宰

すがすがしい季節の中、目に見えるもの、肌で感じるもの、そして鼻をつく匂い。すべてがまばゆく暑い夏へと向かっているようです。もうすぐ7月になります。5月30日に行いました運動会には、たくさんの保護者・地域の皆様にご参観いただき、子どもたちの花小パワー全開で活動する姿に声援と拍手を送ってくださり、ありがとうございました。

さて、標題の「不足の美」。我が国の自然や文化的建造物、日本人の行動やそれらにまつわる有形無形の「美しさ」は、世界も認めるところであります。「不足の美」とは、日本の「侘茶」の祖と言われ、一休禅師の弟子の村田珠光(1423~1502)の目指した、いわば日本の「美」の一つの形です。珠光は華美で高価な茶器より日常の茶道具の中に茶と向き合う者の精神を重視し、後の



「侘び茶」へとつなげていきます。彼は、「月も雲間のなきは嫌にて候」という文章の中で、「満月の皓々と輝く月よりも、雲間に見え隠れする月の方が美しい」と述べています。こうした不足の美を楽しむ心に珠光の創造した詫び茶の主張があったようです。

古都京都。京都西本願寺には飛雲閣という楼閣があります。金閣、銀閣と合わせ京都三名閣とされていますが、この飛雲閣は、金閣、銀閣と違い、随分アンバランスな造りになって



います。しかしよく見ると、それぞれの不均衡さが、実は絶妙なバランスに保たれていることに気づきます。一般的な建造物や特に西洋のそれは左右対称。対して均衡でないことが、お互いの個性を強調し合ったり、欠点を補ったりするようです。バラバラと思われる個性の集まりが「美」の特徴の「不足の美」の「よさ」であるのだと思います。私たち人間社会もそうで

あるし、学校という社会もそうであると思います。様々な個性の集まりが、それぞれを生かし、伸ばし、補い合う。そのことが「集団のダイナミクス」であり、そんな良質な集団に、本校もさらに高めていきたいと思っています。

まずは、一学期の学習や活動をしっかりと最後までやること。ふるさと学習である「うしお音頭踊り練習」、「水泳学習」や「5年宿泊学習」「4年社会科見学」などの体験的な学習をしっかりと行うこと。そうすることで、みんな一人一人の「笑顔いっぱい」「いのちかがやく」美しい姿を見ることができると私は思っています。

	曜	7月 花園小カレンダー
1	水	お話の会(1～4年生) GIGAスクールサポーター来校
2	木	中学校の先生による授業体験
3	金	B日課5時間 市教研 いずみ水泳学習 放課後学習1～3年生
4	土	
5	日	
6	月	B日課5時間 クラブ 1・2年水泳 放課後学習1～3年生
7	火	宿泊学習①
8	水	宿泊学習②
9	木	宿泊学習回復日(5年生)
10	金	B日課5時間(1～4年生) B日課6時間(5・6年生) 個人面談① 放課後学習1～3年生
11	土	
12	日	
13	月	B日課5時間(1～4年生) B日課6時間(5・6年生) 個人面談② 水泳5・6年 放課後学習1～3年生
14	火	住吉神社例大祭14～16日 B日課5時間(1～4年生) B日課6時間(5・6年生) 個人面談③
15	水	3時間授業(住吉神社祭のため) ふるさと教育授業1～6年生
16	木	B日課5時間(1～4年生) B日課6時間(5・6年生) 個人面談④ 浄水場見学(4年生)
17	金	B日課5時間(1～4年生) B日課6時間(5・6年生) 個人面談⑤ いずみ水族館見学 放課後学習1～3年生
18	土	
19	日	
20	月	海の日
21	火	B日課5時間(1～4年生) B日課6時間(5・6年生) 個人面談⑥ 中学校終業式
22	水	大掃除5時間目 SC来校 潮音頭練習会①(16:00)
23	木	4時間授業(下校11:55) 1学期終業式 潮音頭練習会②(16:00)
24	金	夏季学習会①(9:30～11:00)
25	土	潮ねりこみ
26	日	
27	月	夏季学習会②(9:30～11:00)
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

いじめ見逃しゼロへ

本校では、いじめを見逃ごさない姿勢を全教職員で共有し、心理的安全性の高いクラスづくりを進めています。子どもたちが安心して自分の気持ちを表現でき、互いを尊重し合える関係を整えることが、いじめの未然防止につながると考えています。

さて、いじめ防止対策推進法にある「いじめの定義」は以下の通りです。

児童生徒に対して、当該児童が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人間関係にあるほかの児童生徒が行う心理的または物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものも含む)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身に苦痛を感じているもの。

つまり、もし行為をした側に悪意がなくても、受けた側が傷ついたり、不安や恐怖を抱いたりしていれば、それはいじめにあたります。「何をしたか」よりも、「相手がどう感じているか」ということが大切になります。

いじめは、悪口、からかい、無視、仲間外れ、SNSやオンライン上での誹謗中傷、画像の加工や拡散など多岐に渡り、表面的には見えにくいこともあります。そのため、学校だけでなく、ご家庭との連携が不可欠です。「友達や学校の話をしなくなった」「表情がさえない」など、お子様の表情や言動の変化など、気になることがありましたら、早めに学校へご相談ください。

子どもたち一人一人の健やかな成長を支えるため、保護者の皆様とともに取り組んでいきます。



使わなくなった将棋はありますか？

運動会、体力測定とグラウンドを使う行事等も終わり、元気に外遊びする子どもたちの姿が多く見られます。一方で、雨天時に将棋をして過ごす様子も見られるのですが、複数の学年で使う十分な台数が確保できていません。地域の皆様のご家庭に眠っているものがありましたら、学校までご一報の上、お譲りいただけると幸いです。

お待ちしております。



連絡先TEL：25-5233